

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	1	中央図書館の来館利用																		
重点課題	1 平成30年度並みの来館と利用 2 新型コロナウイルス対策を行った上での新たな図書館利用の定着 3 ワークスペースの活用促進																			
具体的な取組内容	<p>(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大小の展示による資料紹介などを行い、利用促進を図った。 ・ホームページ、ツイッター、中央図書館のデジタルサイネージ等を活用して資料やサービスについてのPRを発信した。 <p>(課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止として、最新情報を収集しながら対策を講じた。 ・利用者に安全性をアピールした。市および図書館のホームページ上で、図書館の取り組みや、借りた本を読むときのお願いなどをアップし、貸出時にチラシとして配布した。 ・利用者が館内での滞在時間を減らして、本を選ぶ時間を短縮できるように、ホームページに「ステイホームを楽しもう！」というタイトルで、様々なテーマのブックリストを作成した。 <p>(課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークスペースの活用提案を、ポスター、庁内グループウェアの掲示板、ホームページ、ツイッターなどを通して行い、利用促進に努めた。 ・読書会等の既存の団体に利用提案を行った。 																			
担当係	図書サービス係、レファレンスサービス係																			
関連予算	図書館サービス事業																			
量的指標	入館者数：28万人、貸出冊数：50万冊 (令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による休館と限定サービスが約3か月あり、休館前の状態に戻すにはまだ時間を要する。平成30年度も大規模改修工事によって限定サービスが約3か月あったことと同等とみて、設定した。)																			
令和2年度結果(見込み)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">4～10月</th> <th style="width: 15%;">1か月当</th> <th style="width: 15%;">年度末見込み</th> <th style="width: 15%;">達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館者数</td> <td>99,779人</td> <td>18,142人</td> <td>190,487人</td> <td>68.0%</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>238,260冊</td> <td>43,320冊</td> <td>454,860冊</td> <td>91.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>*4～10月は休館期間を含むため、5.5ヶ月で1ヶ月当たりを計算。</p>						4～10月	1か月当	年度末見込み	達成率	入館者数	99,779人	18,142人	190,487人	68.0%	貸出冊数	238,260冊	43,320冊	454,860冊	91.0%
	4～10月	1か月当	年度末見込み	達成率																
入館者数	99,779人	18,142人	190,487人	68.0%																
貸出冊数	238,260冊	43,320冊	454,860冊	91.0%																
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度中央図書館展示一覧、令和2年度図書サービス係図書館だより ・テーマ一覧、ワークスペース団体利用実績 ・感染防止のための対策について ・新型コロナウイルス感染防止のお願い ・ステイホームを楽しもう(ブックリスト) 																			

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

参考数値	<p>令和元年度（開館日282日） *3/1までは臨時窓口のみ 貸出冊数：45,574冊（3,798冊/月）（162冊/日） 入館者数：17,163人（1,430人/月）（61人/日） 平成30年度（開館325日） 貸出冊数：503,921冊（55,991冊/月） *9か月で換算（1,551冊/日） 入館者数：278,558人（30,951人/月） *9か月で換算（23,213人/日）</p>
図書館自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大は来館利用に影響を及ぼしている。中央図書館は4月11日からの休館の後、サービスの制限や開館時間等の縮減を経て、6月より暫時サービスの緩和を行ってきたが、まだ平成30年度以前の状態には戻っていない。 ・ホームページ等を通じて新型コロナウイルス感染防止対策の取り組みや、サービス再開等をPRしてきたため、徐々に利用が戻りつつある。最終的に貸出冊数については、指標数値の9割となる見込みであるが、来館者数については7割を割り込む見込みである。実際、一人当たりの貸出冊数は平成30年度を超えているので、まとめて借りて来館頻度を少なくする傾向がみられる。今後もこの傾向は続くと思われるので、図書館の支援としては、館内での滞在時間を短縮するための展示やブックリストの作成を継続していきたい。 ・ワークスペースは、席数も減らし、積極的なPRがなかなかできずにいたが、徐々に利用が増えている。図書館主催の講座や写真展の他、市の他部署によるパネル展なども行い、一般利用者の問い合わせも増えている。今後は、利用事例を活用した広報などを行い、利用促進を図りたい。
図書館協議会委員欄	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の大変な時期、入館者数、貸出回数は年度指標未達に終わるようだが、感染症対策につとめながらよく頑張ったと思う。 ・今後の来館利用を見直す変革の時期と考え、利用者が施設に求めているニーズを更に細かく把握・分析してほしい。中央図書館・分館の役割分担は勿論、各分館に特徴を持たせて利用者の要望に幅広く応える図書館のあり方を模索できたらと思う。 ・乳幼児・保護者、勉強する児童・学生、憩いの場を求める高齢者等全ての世代が集う図書館とすべく、より一層利用しやすい仕組み作りが欲しい。 ・感染症はまだ続くので、予算的には厳しいかもしれないが、電子書籍導入も検討してはどうか。 ・感染対策として、利用者に様々な呼びかけをしていたが、よく利用している人ほど普段と違う使い方はできない傾向が見られた。呼びかけの強化をするしかないのではないか。 ・今後も制約は多いだろうと思うが、貸出のサービスを維持してほしい。 ・予算も厳しいと思うが、極端に図書購入が減らないようにしてほしい。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、感染症対策を行いながら、より多くの利用ができるように環境を整える。また、感染予防については専門機関の研究結果などを参考に、対策の内容も見直していく。 ・利用者からの要望、苦情などからニーズを分析し、通常の開館時、非常時のサービスについて検証を行う。 ・電子書籍については、地域・行政資料の電子化の次の段階として、市販の電子書籍の貸出サービスの導入を検討していきたい。

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	2	分館の来館利用																	
重点課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 図書館サービスの可能性や活用方法のPR強化 2 資料の展示の工夫 3 美浜分館のリニューアルオープン 4 公民館、庁内各課等との連携 																		
具体的な取組内容	<p>(課題1) ホームページでは毎月1回「分館だより」を更新した。各分館がツイッターを活用した情報発信を行った。展示、読書通帳、絵本のよみきかせの様子などをツイートし、分館利用の促進を図った。</p> <p>(課題2) テーマ展示は6月より再開した。新型コロナウイルス感染予防のため短時間で帰宅したい来館者に向けて、手早く資料を選べるように、様々なテーマで展示を行った。</p> <p>(課題3) 美浜分館は工期延長のため、開館日が7月から10月7日に変更された。開館に際しては、ポスター・チラシ・図書館ホームページ・ツイッター等を活用して、開館前・開館後とも積極的な広報を行った。開館準備期間に蔵書点検も実施し、蔵書の適正な管理にも努めた。</p> <p>(課題4) 公民館事業では、平和パネル展と認知症パネル展があり、図書館は関連資料の展示、パスファインダーの配布、ツイッターでの広報を協力した。当代島・堀江分館では絵本のよみきかせ等で公民館行事に協力した。昨年度に引き続き、がん啓発展示「がんを身近に」を健康増進課と共同で準備した。12月より中央図書館から展示を開始し、1月以降に分館を巡回する予定である。</p>																		
担当係	分館係																		
関連予算	図書館運営費																		
量的指標	貸出利用者数：24万5千人 貸出冊数：73万冊 ＊分館は来館者数を計測していないことから、貸出利用者数を指標とする。 ＊令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館と限定サービスが2か月半、その後も座席数の削減などもあり、休館前の状態に戻すにはまだ時間を要するため、開館日数は9か月（美浜分館は6か月）とした。																		
令和2年度結果（見込み）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">4～10月</th> <th style="width: 15%;">1か月当</th> <th style="width: 15%;">年度末見込み</th> <th style="width: 15%;">達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">入館者数</td> <td>124,219人</td> <td>24,608人</td> <td>247,258人</td> <td>100.9%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">貸出冊数</td> <td>372,015冊</td> <td>74,237冊</td> <td>743,200冊</td> <td>101.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>＊分館は来館者数を計測していないことから、貸出利用者数を指標とする。 ＊4～10月は休館期間を含むため、5.5ヶ月で1ヶ月当たりを計算。美浜分館のみ10月実績値を1ヶ月当たりとする。</p>					4～10月	1か月当	年度末見込み	達成率	入館者数	124,219人	24,608人	247,258人	100.9%	貸出冊数	372,015冊	74,237冊	743,200冊	101.8%
	4～10月	1か月当	年度末見込み	達成率															
入館者数	124,219人	24,608人	247,258人	100.9%															
貸出冊数	372,015冊	74,237冊	743,200冊	101.8%															
参考資料	「分館ツイッターのツイート例」 「分館展示記録（6月～11月）」、「分館展示写真」																		

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

<p>参考数値</p>	<p>令和元年度 貸出冊数：1,122,610冊 貸出利用者数：358,409人 平成30年度 貸出冊数：986,019冊 貸出利用者数：330,794人 ＊令和元年度は中央図書館が大規模改修工事のため、3月23日まで休館した。 ＊平成30年度は猫実分館が7月16日まで休館した。 ＊令和2年度は美浜分館が10月6日まで休館した。他の分館は4月11日から5月19日まで休館、5月20日から6月14日まで開館時間やサービスを限定した開館、6月15日から通常の開館時間となり、6月25日から月曜開館を再開した。</p>
<p>図書館 自己評価</p>	<p>【量的指標】 貸出利用者数、貸出冊数とも指標数値を達成する見込みである。 【重点課題】 ・分館の広報ではツイッターを積極的に活用した。時事的な話題や展示など各館担当者が工夫をこらした話題を投稿し、分館への親しみを感じてもらい、図書館利用を促進する機会となった。 ・美浜分館のリニューアル開館では、建物引き渡しから開館日まで1か月以上の期間が取れたことや、これまでの大規模改修工事の経験の蓄積もあり、余裕をもって開館準備にあたることができた。 ・他部署との連携では、「認知症パネル展～」（公民館、高齢者包括支援課と）や「おそとでたのしむえほんのじかん」（堀江公民館）など新規事業に協力し、事業の質的充実にご貢献することができた。また、展示「がんを身近に」では健康増進課と連携した他、国立がんセンターと順天堂大学医学部附属浦安病院から配布資料の提供を受け、展示の充実を実現した。1月以降の分館展示では更に充実をはかりたい。</p>
<p>図書館協議会 委員欄</p>	<p>・各分館がSNSを利用して、積極的に本やイベントの情報を発信していたことはよかったと思う。 ・地域によっては、コロナの影響で外出を控えているが、活字を欲しているご高齢の方がいるかもしれない。期限付きで本を届けるようなサービス、工夫があるといいと思う。</p>
<p>改善の 方向性</p>	<p>・市民や利用者の方への積極的な情報発信については、引き続き取り組む。 ・高齢者に向けたサービスについては、期限付きの個別宅配等は難しい。分館としてどのような取り組みができるか検討をする。</p>

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	3	レファレンスサービス
------	---	------------

重点課題	1 レファレンスサービスの周知、広報 2 調査回答における利用者満足度調査の検証を進めて、サービスに反映させる。 3 レファレンス事例の公開の検討と実施
------	--

具体的な取組内容	<p>(課題1) レファレンスサービスのPRを検討し、具体的な広報を行った。休館中は、新型コロナウイルス感染症関係のリンク集の掲載等、図書館ホームページでの情報提供を行った。開館後は毎月図書館ホームページでレファレンスだよりの更新を継続して行っている。 令和3年度「総合利用案内」を検討し、レファレンスサービスを案内する”調べものをするには”の内容を改定した。 データベースの利用についてポスターを作成、掲示した。</p> <p>(課題2) レファレンスの満足度調査の検証を行い、満足度調査の評価についてマニュアルを改訂、全職員に周知を図った。</p> <p>(課題3) レファレンス事例の公開について検討した。今年度中に図書館ホームページにレファレンス事例を公開する。</p>
----------	---

担当係	レファレンスサービス係、分館係
-----	-----------------

関連予算	レファレンスサービス事業
------	--------------

量的指標	<p>【量的指標】・調査回答数（全館の合計） （調査回答）800件（Eレファレンスを含む） ※令和元年度調査回答数の月平均数の9.5か月分（レファレンス室開室月数） 【質的指標】回答に対する利用者満足度について、全館で8割以上の満足を得る。</p>
------	--

令和2年度 結果 (見込み)	調査回答数 ＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、レファレンス室を閉鎖し、4/10まで電話・インターネットでのみレファレンスの受付を行った。4/11（土）からは臨時休館となり、レファレンスサービスについてもサービス提供を中止した。6月1日より電話・インターネットでの受付を再開、6月15日よりレファレンス室を開室し、対面でのレファレンスを再開した。												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	6-10月 平均	11-3月 見込み	計	達成率
	中央館 調査回答	11	0	51	89	74	64	60	349	68	338	687	/
分館 調査回答	3	0	31	26	35	32	37	164	32	161	193	/	
計	14	0	82	115	109	96	97	513	100	499	880	110%	

満足度調査 ＊◎（満足）および○（どちらかといえば満足）の割合

中央図書館 92%

分館 95.7%

全館 93.3%

	4～10月	
◎	191	66.8%
○	72	25.2%
△	19	6.6%
×	4	1.4%
計	286	100.0%

	4～10月	
◎	81	49.7%
○	75	46.0%
△	7	4.3%
×	0	0.0%
計	163	100.0%

	4～10月	
◎	272	60.6%
○	147	32.7%
△	26	5.8%
×	4	0.9%
計	449	100.0%

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例
参考数値	<p>調査回答数（令和元年度） 中央図書館 58件、分館 901件、合計 959件 満足度調査（令和元年度中央図書館レファレンス記録より） ◎ 38.7%、○ 51.8%、△ 7.9%、× 1.6%</p>
図書館 自己評価	<p>【量的指標】・調査回答数（全館の合計）は10月末で513件、年度末見込値が880件となり、量的指標の800件は達成見込みである。 【質的指標】回答に対する満足度集計に見られる通り、“満足”と、“どちらかといえば満足”を合計した割合が、93.3%と全体の9割を達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月までの中央館の調査件数は1か月当たり68件となっており、休館前の件数（1か月当たり79件）に戻りつつある。分館は令和元年度より減少しているが、1か月当たり32件と一定の利用が見られている。 ・今年度は利用者と対面することで質問を明確にし、中央図書館のレファレンス資料に直接あたれたことで、より適切な対応ができた。満足度調査のうち◎（大変満足）が中央館で高い数値を示すことができた。 ・休館中の広報としては新型コロナウイルス感染症関係のリンク集の作成・掲載等を行い、図書館ホームページで利用者に必要な情報提供を行うことができた。 ・レファレンスの満足度調査については、評価する職員の基準の統一を図り、より正確な結果が得られるようになった。 ・レファレンス事例の公開については、準備を進め、図書館ホームページに公開、レファレンスサービスの利用者への周知を図った。
図書館協議会 委員欄	<ul style="list-style-type: none"> ・Eレファレンスの件数について数値として出してもよいのではないか。また、あまり多くないようであれば、利用促進を積極的に推進してはどうか。例えば、都立図書館では試験的にLINEを使ったチャットボットを運用していたが、チャットボットで回答できないものは電話レファレンス対応の職員が対応していた。こうした事例も参考になると思う。 ・レファレンス協同データベースの事例登録が止まっている。理由があれば教えてもらいたい。また、特に問題がないのであれば、HPからリンクを張ってはどうか。 ・レファレンスサービスについてのPRを「具体的に行った」とあるが、どのような内容でいつ行われたのか、またその効果についても示してほしい。 ・レファレンスサービスについてのホームページでの情報提供は充実している読みごたえがあるが、一般の利用者がここまでたどり着くのは困難ではないか。何か工夫ができたらいと思う。 ・レファレンス事例をホームページ上に公開したことは特記していいのではないか。
改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・Eレファレンスを含めたレファレンスのPRについては、ホームページの他、ツイッターや利用案内の作成・配布等を通して取り組む。 ・図書館ホームページに公開するレファレンス事例を追加し、利用者への周知を図る。 ・レファレンス協同データベースの事例登録については、更新の回数を増やしていく。

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	4	子ども読書活動の推進															
重点課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもと子どもに関わる大人への読書案内・読書相談の充実 2 新型コロナウイルス対策を行った上での集会事業の実施 3 大規模改修後の児童フロアの運用 																
具体的な取組内容	<p>(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短時間で効率的に図書館利用をしてもらえるよう、お薦めの絵本やテーマ別資料の紹介等、館内展示やツイッターによる情報発信の充実を図った。 ・図書館の利用制限期間中の読書支援として「子どもの本のソムリエ」サービスを行った。広報は、図書館ホームページやツイッターでの周知のみであったが反響が大きく、大変好評であった。 ・職員のスキルアップのため、定期的に研修を実施した。 <p>(課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会事業については、参加人数の制限や、事前受付を行うなど、安全に配慮した集会事業の開催方法を検討し、7月から定例行事を再開した。 ・講演会や「科学で遊ぼう」についても、内容や方法を講師と相談して、接触の少ない方法を検討して開催した。 <p>(課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事後に新設された「のびのびひろば」「あかちゃんほっとすてーしょん」については、感染防止対策を考慮して運用を決め、「あかちゃんほっとすてーしょん」は6月1日より、「のびのびひろば」は6月15日より運用を開始した。 ・カウンターの移設に伴い、カウンターでの業務の見直しを行い、作業が効率よく行える環境を整えた。 																
担当係	児童サービス係、分館係																
関連予算	児童サービス事業																
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童書貸出冊数(全館) 32万冊 児童1人当たり 14.7冊 (平成30年度の児童1人当たりの貸出冊数をもとに設定した。) ・児童関連集会事業参加者 延2,500~2,600人 (平成30年度の児童関連集会事業参加者をもとに設定しているが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、集会事業の参加者数を通常の半数とした。) 																
令和2年度結果(見込み)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 15%;">4~10月</th> <th style="width: 15%;">1か月当</th> <th style="width: 15%;">見込値</th> <th style="width: 15%;">達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童書貸出冊数*</td> <td style="text-align: center;">162,840冊</td> <td style="text-align: center;">29,607冊</td> <td style="text-align: center;">310,875冊</td> <td style="text-align: center;">97.1%</td> </tr> <tr> <td>児童関連集会事業参加者**</td> <td style="text-align: center;">973人</td> <td style="text-align: center;">243人</td> <td style="text-align: center;">2,187人</td> <td style="text-align: center;">87.5%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> *4~10月は休館期間を含むため、5.5ヶ月で1ヶ月当たりを計算 **4~10月は新型コロナウイルスの感染拡大防止による6月までの集会事業の休止のため、4カ月で1ヶ月当たりを計算。 ・児童1人当たり 14.0冊(見込み 達成率95.2%) 			4~10月	1か月当	見込値	達成率	児童書貸出冊数*	162,840冊	29,607冊	310,875冊	97.1%	児童関連集会事業参加者**	973人	243人	2,187人	87.5%
	4~10月	1か月当	見込値	達成率													
児童書貸出冊数*	162,840冊	29,607冊	310,875冊	97.1%													
児童関連集会事業参加者**	973人	243人	2,187人	87.5%													

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・児童向け推せん図書リスト ・令和2年度児童集会事業開催一覧（定例行事） ・「科学で遊ぼう」「子どもの本の講座」報告 ・「本のソムリエ」事業報告
------	---

参考数値		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	児童書貸出	421,068冊	367,898冊	299,517冊
	15歳以下人口	25,406人	25,023人	22,683人
	児童1人当たり	16.6冊	14.7冊	13.2冊
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 児童1人当たり 13.2冊（目標達成） ・令和元年度 児童関連集会事業参加者（全館） 延4,665人（目標達成） 			

図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・児童書の貸出については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館や利用制限により、平成30年度以前の状態には戻っていないが、読書通帳の導入に伴い、6月以降、児童の新規登録と児童書の貸出冊数が徐々に増えてきている。今後、目標値に近い貸出冊数になることを期待したい。 ・定例の集会事業については、広報に努めている効果が表われ始め、参加者が徐々に増えてきている。特に、「ブックスタート絵本講座」については、新型コロナウイルスの影響で外に出る機会が少なくなっている母親たちの交流の場にもなっているようである。今後も、館内掲示やホームページ、ツイッターなど様々な媒体での広報を行っていききたい。 ・改修後の児童フロアについては、「のびのびひろば」がよく利用されており、親子で寛いで絵本を楽しめるので好評である。また、カウンターの位置がエントランスからすぐにわかる場所になったため、利用者が声をかけやすく、カウンター職員もフロアが見渡せ、来館している子どもに目を配ることが容易にできるようになった。
-------------	---

図書館協議会 委員欄	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な取組みが必要な事業だと思う。児童・生徒たちが文字に触れる機会を増やすきっかけとなるよう、本事業を推進してほしい。 ・児童書の貸出件数については、コロナで休館していた時期を考えると、十分な件数だと思う。 ・読書通帳についても、子どもたちが読書を楽しむ励みになるととても良い試みだと思う。 ・推薦図書リストについて、絵本資料に関しては、自分で読む場合と読み聞かせる場合の対象年齢の目安も記載されているといい。 ・保育園児等、平日図書館に行けない子どもたちに向けて、分館でも土曜日の読み聞かせを行ってはどうか。
---------------	---

改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと本を結びつけ、読書に親しむ機会を提供できるよう、引き続き事業を進めていく。 ・推薦図書リストの絵本については、大人が読んであげることを前提として作成している。よみかかせの重要性についてメッセージを添える等の工夫を検討する。 ・分館での土曜日の読み聞かせについて、土曜日の利用状況や分館のスペースを考慮すると開催するのは難しいため、中央館で行っている「えほんのじかん」のPRを強化する。
------------	---

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	5	読書通帳の運用																						
重点課題	1 読書通帳の利用促進 2 学校図書館システムとの連携 3 令和3年度、新1年生分の読書通帳の調達先の確保																							
具体的な取組内容	<p>(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月2日より通帳機の使用を一時中止していたが、定期的に消毒を行うことで6月1日より再開した。 ・利用促進を図るため広報に努め、中央図書館及び各分館、美浜分館のリニューアルオープン時において、館内でのポスター掲示や、図書館ホームページ、ツイッターなどでPRをした。加えて、市内教育施設や学校図書館、おさんぽバス車内でのポスター掲示や、読書週間での利用増加を見込み、広報を強化した。 ・市のプレスリリースや広報番組で紹介をしたことにより、マスコミなどでも取り上げられた。 <p>(課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館で借りた本と、市立図書館で借りた本を同じ読書通帳に印字できるようにする学校図書館システムとの連携については、関係部署及びシステム導入業者との調整を行い、令和2年8月1日より運用を開始した。 ・学校連携の開始に際しては、小中学校の学校図書館司書へ運用説明を行い、子どもたちへの周知を依頼した。 <p>(課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の新1年生へ配布する通帳の調達について調整を行った。今後、受け入れ手続きを進める。 																							
担当係	児童サービス係、分館係																							
関連予算	児童サービス事業 読書手帳運用経費																							
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校児童の読書通帳登録件数：2,500～3,200件 (通帳配布数の20～25%) ・学校連携の登録件数：600～800件 (通帳登録件数の20～25%) 																							
令和2年度結果 (見込み)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 15%;">6～10月</td> <td style="width: 15%;">1か月当</td> <td style="width: 15%;">見込値</td> <td style="width: 15%;">達成度</td> </tr> <tr> <td>読書通帳登録件数*</td> <td>1,550冊</td> <td>310冊</td> <td>3,100冊</td> <td>達成見込</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8～10月</td> <td>1か月当</td> <td>見込値</td> <td>達成度</td> </tr> <tr> <td>学校連携の登録件数**</td> <td>310件</td> <td>103件</td> <td>824件</td> <td>達成見込</td> </tr> </table> <p>* 読書通帳機の稼働については、中央図書館及び各分館で、令和2年4月1日より供用を開始した。(4/2～5/31までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通帳の配布・販売、通帳機の使用を休止した。)6月1日より再開した。</p> <p>** 学校連携の運用については、8月1日より運用を開始した。</p>					6～10月	1か月当	見込値	達成度	読書通帳登録件数*	1,550冊	310冊	3,100冊	達成見込		8～10月	1か月当	見込値	達成度	学校連携の登録件数**	310件	103件	824件	達成見込
	6～10月	1か月当	見込値	達成度																				
読書通帳登録件数*	1,550冊	310冊	3,100冊	達成見込																				
	8～10月	1か月当	見込値	達成度																				
学校連携の登録件数**	310件	103件	824件	達成見込																				

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

参考資料	<p>市ホームページ（プレスリリース） PR用ポスター例</p>
参考数値	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校へ、読書通帳の配布を行った。（配布数：12,813冊）
図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・読書通帳の導入により、児童の新規利用登録が平成30年度同月と比較して397件増加している。新型コロナウイルスの影響により、貸出冊数はまだ平成30年度の数値には及ばないが、新規登録者が増加していることで、今後の利用に期待できる。読書通帳が子どもたちの図書館利用や読書のきっかけとなっている。 ・小中学生の利用以外にも未就学児の保護者が、子どもの読書の記録として利用している。 ・利用の促進については、ポスター掲示等のPRに努めたことにより、読書通帳の登録件数が6月末676件から10月末1,550件と増加しており、効果が見られた。
図書館協議会 委員欄	<ul style="list-style-type: none"> ・読書通帳による児童サービスの活性化は一定程度期待されると思う。今後は、新たに呼び込んだ児童を継続してひきつけていけるような取り組みを期待する。 ・学校図書館との連携が済み、読書に関心の高い保護者が登録している状況である。利用促進をするのであれば、学校司書を通じて登録ができるような方法はないものか。もし学校で登録できれば、関心の低い児童も読書への意欲が高まるのではないかと思う。
改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が通帳を通して、今後も楽しみながら読書を続けていけるような取り組みなどを検討していく。 ・読み聞かせや本の紹介等で、職員が学校へ出向いた際に、通帳の利用案内を行い、登録の促進を図る。 ・学校図書館との連携を強化し、学校用のポスターの配布・掲示依頼、図書館だよりへの掲載依頼等、学校司書と協力して児童への広報を進めていく。

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	6	情報発信
重点課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 図書館ホームページの適切な運営・管理 2 図書館だより、ツイッター等での情報発信の継続 3 スマートフォンでの情報発信の検討 4 資料展示による情報提供 	
具体的な 取組内容	<p>(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止に対応した図書館の開館・休館情報について、図書館ホームページの情報の更新を適切に行った。情報が正確に伝わるようホームページのバナーも掲載した。休館中の情報発信として、新型コロナウイルス感染症関係のリンク集の掲載、お薦め資料リスト「ステイホームを楽しもう」を掲載した。 ・図書館ホームページの他、市広報、図書館ツイッターへも情報を掲載、県内図書館に情報の掲載を行った。 <p>(課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司書からの情報発信を図書館だより、ツイッター等で行った。 <p>(課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホ版OPACのお知らせ機能を活用した情報発信について、運用に向け検討を進めた。 <p>(課題4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館及び分館にて所蔵資料を活用した展示を行い、さまざまなテーマに関連した情報を提供した。 ・新しく設置した中央カウンター上部の飾り棚に、定点撮影で記録してきた浦安市の写真を展示、書架では地域資料の展示を行った。 ・浦安市が撮影に協力した「浦安鉄筋家族」の展示では、地域資料に関連した浦安のガイド等を配布した。 	
担当係	レファレンスサービス係	
関連予算	レファレンスサービス事業	
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページ ページビュー回数 83,000回(月) 996,000回(年) ・ツイート 23ツイート(月) 276ツイート(年) 図書館便り 4回(月) *図書館の開館月の指標とする。休館月は参考値とする。 ・スマートフォンからの情報発信を1つ以上行う。 ・中央図書館内の各展示スペース、及び分館の展示スペースにて資料紹介を適宜行う。 	

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

令和2年度 結果 (見込み)	図書館HP閲覧回数										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	1か月 当たり	年度末 見込み	目標	達成率
	111,089	131,191	122,067	115,815	111,616	98,387	98,373	112,648	1,351,779	996,000	136%
	ツイート数										
	8	21	24	50	36	46	86	39	465	276	168%
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより 27回（4月～10月） （年度末見込み）52回 （1か月当たり）4回 （内訳） レファレンス図書館だより 5回 10回（年度末見込み） 図書サービス係図書館だより 12回 22回（年度末見込み） 児童サービス係図書館だより 3回 8回（年度末見込み） 分館係図書館だより 7回 12回（年度末見込み） *各系の図書館だよりは、11月以降は月1回更新予定。 （図書サービス係は月2回予定） ・スマートフォンからの情報発信のための準備を行った。 ・中央カウンター展示スペースで、地域資料関連の展示を行った。1回/「浦安鉄筋家族」関連資料の展示 										
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・トップツイート例。4-6月の期間で表示された回数の多いツイートをあげた。 ・「図書館だより」例 ・「浦安鉄筋家族」の展示風景 										
参考数値	令和元年度 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページ ページビュー回数 993,712回 ・ツイート 268ツイート ・図書館便り 中央図書館11回、レファレンスサービス8回、 児童・障がい者サービス1回、分館12回 										
図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページのページビュー回数は10月末で112,648回、年度末見込みは135万回となり、量的指標は達成見込みである。 ・ツイート数は465ツイートと指標を大きく超える見込みである。 ・令和2年2月までは図書館ホームページビュー数は月80,000回ほどであったが、3月以降、100,000回を超えている。図書館の休館や開館情報等について、有効な情報提供の手段の一つとしてホームページが活用されたと思われる。 ・新しく設置した中央カウンター上部の飾り棚に、定点撮影で記録してきた浦安市の写真を展示することで、カウンターからの図書館の情報発信をすることができた。身近な風景の写真は来館者によく馴染まれている。 ・中央図書館及び分館にて、所蔵資料を活用した展示を行い、さまざまなテーマに関連した情報を提供し、利用者へ図書館利用を促進する機会となった。担当が工夫し行った展示は足を止めて資料を手取る利用者の姿が多く見られた。 										
図書館協議会 委員欄	<ul style="list-style-type: none"> ・ツイート数の増加は喜ばしく思う。トピック的な内容も増え、より親しみが持てる。休館や学習室の情報も利用者にとって有益であると思う。 ・更新数の増加は職員の負担になるかと思うが、今後も力を入れていただきたい。ただ、フォロワー数の670人程度というのは少ないと思うのでPR等に努めてほしい。 ・ホームページもページビューが増えているが、図書館に行けない時に楽しめる、図書館や本に関するコンテンツの充実を進めていただきたい。 ・開館状況がたびたび変更になっているが、News欄で、何がどう変わったかがわかりにくく感じたので検討していただきたい。 										
改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページおよびツイッターを利用した市民への情報発信に、引き続き取り組む。 ・非来館型サービスとして、ホームページやWebサービスのコンテンツ充実を図る。 ・中央図書館および分館での展示を活用した情報発信に、引き続き取り組む。 ・ホームページのNews欄は、わかりやすい表示を工夫する。 										

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	7	震災資料アーカイブ化事業の取り組み
重点課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 東日本大震災から10年目を迎え、発災から復旧復興までの行政の初動体制や復旧活動などの被災体験を映像で記録する事業を行う。 2 「浦安震災アーカイブ」の利活用の促進。 3 「浦安震災アーカイブ」のサーバOSの更新を含む維持・管理。 	
具体的な取組内容	<p>(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内に東日本大震災被災体験記録作成検討委員会を設置し、初動体制を中心とした証言を映像、文書で記録する事業を開始しており、2月末までに完成する予定である。 <p>(課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ツイッターを通して、「浦安震災アーカイブ」のPRを行った。今後、3月に向けて継続的にPRを行う予定である。 <p>(課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報政策課と連携して、アーカイブシステム業者と調整のうえ、システムのサーバOSの更新作業を完了した。 	
担当係	図書資料第2係	
関連予算	震災資料アーカイブ化事業	
量的指標	<p>【量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「浦安震災アーカイブ」の前年度1ヶ月当たりの利用平均値を上回るホームページビュー数(7,874件以上)。外部機関等からの「浦安震災アーカイブ」のコンテンツ使用許諾件数については、前年度の利用件数を上回ること(59件以上)。 <p>【質的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「浦安震災アーカイブ」、「被災体験記録」に関するアンケートを実施し、客観的評価(認識度、活用度、自由意見等の計測)を行う。 	
令和2年度結果(見込み)	<p>【量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページビュー数(4-10月)・・・ 60,721件(月平均: 8,674件) ・ ページビュー数合計(年度末見込み)・・・ 104,093件(達成率: 110.2%) ・ コンテンツ使用許諾件数(4-10月)・・・ 31件 ・ 使用許諾件数合計(年度末見込み)・・・ 53件 	
参考資料	<ol style="list-style-type: none"> ① 令和元年度「浦安震災アーカイブ」利用状況 ② 令和元年度「浦安震災アーカイブ」コンテンツ利用許諾一覧表 	

令和2年度 浦安市立図書館事業評価シート

参考数値	<ul style="list-style-type: none"> ・「浦安震災アーカイブ」のホームページビュー数・・・94,433件（令和元年度実績：月平均7,874件） ・個人や行政、報道等の各機関から防災や学術等の目的でコンテンツを使用するための許諾申請数・・・59件（令和元年度実績） ・紙媒体の震災記録をデジタル化するためのスキャン作業、及びデータ修正件数・・・10,892件
図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・被災体験記録の作成に当たっては、庁内に設置した委員会を通して、30名程度の証言者をリストアップし、次世代に引き継ぐ記録として必要な内容を十分に検討した。2月に完成を予定しているが、震災の記録として重要な資料ができるものと考えている。 ・「浦安震災アーカイブ」のホームページビュー数は、前年度を上回る見込みとなっており、継続的に利活用されていることがわかる。 ・外部機関等からの「浦安震災アーカイブ」のコンテンツ使用許諾件数は、現時点で10団体（東京都教育委員会から小学生向け防災啓発本での写真使用、大学主催の防災イベントや防災シンポジウムでの動画、写真使用等）より合計31件の申請があった。現時点では、昨年度比で微減となっているが、来年2021年3月は東日本大震災から10周年となることから、今後2月から3月初旬の時期にかけて使用申請が増加するものと予測されるので、最終的には前年度実績を上回るものと考えている。 ・アーカイブシステムのOS更新は予定通り取組むことができ、絶え間のないシステム運用を行うことができたので、ホームページ利用の増加に加えて、コンテンツの使用許諾の依頼がコンスタントに生み出されるなど、「浦安震災アーカイブ」が各方面で防災・減災の意識向上に役立てられたと考えられる。
図書館協議会 委員欄	<ul style="list-style-type: none"> ・震災の記録を後世に伝えていく貴重な資料だと思う。 ・二次利用の可否について、「浦安震災アーカイブの利用規約の範囲内に限り可」と書かれているものが多いように思いますが、クリエイティブコモンズライセンスなど一般的なライセンスに切り替えた方がより利用されると思う。 ・ジャパンサーチへの登録を検討してはどうか。
改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・二次利用の手続きについては、コンテンツの活用の幅を広げることを目的として、手順の簡素化を検討していく。 ・ジャパンサーチとの連携については、調査・研究を進める。